

館山

会議所だより

会議所は企業の要、地域の灯

2015

1

会員数 895 名

●昭和51年7月10日 第3種郵便物認可●平成27年1月10日発行(毎月1回10日発行) 第565号●発行所/館山商工会議所●編集発行責任者/専務理事 山本佳幸●〒294-0047 千葉県館山市八幡 821 ●TEL0470-22-8330 FAX0470-23-4011 ●印刷所/株式会社 集賢舎●定価 1部 20 円(購読料は会費に含まれています)

初春



新年明けましておめでとうございます

◇新年のごあいさつ

『風通しの良い会議所を目指して』

館山商工会議所 会頭 杉井 繁樹

『走・攻・守』で『ふるさと館山』をさらに元気に

館山市長 金丸 謙一

『平成27年 知事年頭所感』

千葉県知事 森田 健作

『平成27年 年頭所感』

日本商工会議所 会頭 三村 明夫

訓練生の採用にご協力ください

まちの視点 「まちゼミ」の効用を実感

市内従業員永年勤続優良従業員表彰式を挙

無担保、無保証人、低利子で融資

～マル経融資制度～

利子補給(1%) 制度が利用できます!

マル経融資制度は、小規模事業者の皆様の経営改善に必要な事業資金を館山商工会議所の推薦により「(株)日本政策金融公庫」から借りられる国の制度です。

担保、保証人	不 要
貸付限度額	2,000 万円
返済期間	10 年以内 (*運転資金は 7 年以内)
利 率	年 1.35% (平成 26 年 12 月 31 日現在)
融 資 対 象	従業員(家族従事者、パート、法人の役員除く)が商業・サービス業は5名以下、製造業・その他は20名以下の小規模事業者

※ご利用の際には各種要件がございますのでお問い合わせください。☎ 22 - 8330

新年のごあいさつ

風通しの良い会議所を目指して



館山商工会議所
会頭 杉井 繁樹

新年明けましておめでとう
ございます。会員の皆様にお
かれましては、健やかな新春
をお迎えのこととお喜び申し
上げます。また、日頃より会
議所活動にご協力を賜り誠に
ありがとうございます。

昨年の3月定時総会におき
まして、高橋弘之前会頭の退
任に伴いまして、不肖、私が
会頭の任に就き、副会頭には
石渡和男氏が留任し、新たに
佐野義雄氏、高橋幸民氏が就
任、専務理事は山本佳幸氏が
留任いたしました。

まずは、執行部の結束が第
一との思いから、正副会頭会
議を月2回のペースで開催し
ております。副会頭の皆様に
は物心両面に渡りまして、た
いへんなご尽力をいただき感
謝の念に堪えません。

運営方針といたしまして、
副会頭の権限強化と責任分担
制を実施しております。これ
は副会頭の皆様に十二分にこ
活躍いただきたいの思いか

らであります。原則として、
他団体との関わりについて、
担当制とする、また部会・委
員会をそれぞれ分担して担当
していただくということであ
ります。

石渡副会頭には、工業部門
と産業活性化委員会・広報委
員会・労務対策委員会を担当
していただきます。諸団体と
しては会議所女性会・青年会
議所をお願いしております。

佐野副会頭には、観光サー
ビス部門と総務委員会・会員
増強委員会を担当していただ
きます。諸団体としては、会
議所青年部・観光協会をお願
いしております。

高橋副会頭には商業部門と
商業まちづくり委員会・マル
経審査会・金融税制委員会を
担当していただきます。諸団
体としては、自衛隊・商店会
連合会をお願いしております。

今年度の重点事業として、

①平成25年度館山市中心市街 地活性化報告書を踏まえ、勉 強会の実施と具体策の検討

現在高橋副会頭のもと、地
域内資金循環等新事業開発検
討事業を、商業まちづくり委
員会のメンバーを中心として
実施中であります。

②産業活性化委員会にて事業 を実施すること。

現在、石渡副会頭・川名委
員長のもと「第二創業で長寿
企業を目指す」というテーマ
で、東洋大学教授で幸田旅館
オーナーの幸田浩文先生に委
員会を対象にしたセミナーを
実施していただいております。
たいへん好評でございます。
今年には対象を拡大でき
ればと考えております。

海洋深層水の掘り起しはあ
まり進んでおりませんが、デ
ザインウォーターと連絡を取
りつつ進めております。また
締めておりません。

③会議所の組織強化と財政基 盤の強化

先程説明したように、副会
頭の権限強化と責任分担制・
常議員会の活性化・共済事業
の推進を実施中であります。

④政策提言機能の強化と他団 体との連携

最も重要と位置付けている
この項目が全く出来ておりま
せん。今後はこの点に力を入
れると共に、他団体との連携
をもっと強力に推進したいと
考えております。

⑤部会構成・委員会構成の見 直し

部会構成につきましては、
現在総務委員会にて大幅な見
直しを検討中であります。委
員会構成も見直し、委員会の
統廃合も含めて、新たに広報
委員会と会員増強委員会を新
設いたしました。外部への発
信があまり出来ていないこと
と、もつと会員が発信機能に
係わるべきとの思いから広報
委員会を作りました。また、
会員の急激な減少が起きてお
り、ピーク時の40%減となっ
ておりますので、会員増強が
急務であります。

⑥商工会館の整備

防衛施設周辺民生安定施設
整備事業により空調設備の改

修を推進中。

以上、今年度事業計画と進
捗状況を報告させていただきました。
皆さんとでも一所懸命に活動
していただいておりますが、私
が目指している商工会議所
には程遠い状況であります。
もつと商工会議所としての存
在感を出していく必要がある
と痛感いたします。
世の中のテンポに館山商工会
議所は乗り遅れているように
感じてなりません。花火大会
だけの商工会議所では存在感
があるとは言えません。

今後はもつと外部へ発信し
て、会議所が何を考え、何を
しようとしているのかを市民
の皆様を理解していただく必
要があると思っております。

現在急激な円安で仕入価格
の上昇やエネルギーコストの
増大により、収益が圧迫され
ている中小企業がほとんどで
あります。消費税率の10%へ
の引き上げが見送られたこと
は歓迎すべきことかと思いま
す。

今年度は風通しの良い館山商
工会議所を目指して全職員と
共に頑張つてまいります。会
員の皆様方のご協力と、各企
業様の益々の御発展をお祈り
いたします。

新年のごあいさつ

「走・攻・守」で『ふるさと館山』を
さらに元気に



館山市長

金丸謙一

新年明けましておめでとう
ございます。

杉井会頭をはじめ館山商工
会議所役員並びに会員の皆様
方には、健やかな新春をお迎え
のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、地域経済の
重要な担い手として、商工業
の振興・発展はもとより、市
政全般にわたり、格別なるこ
理解とご協力を賜り、深く感
謝申し上げます。

さて、国内では景気回復が
叫ばれる一方、地方におきま
しては、未だその効果を実感
できるような状況には至って
いない中、国会では「地方創生」
に関連する法案が成立し、施
行されました。今後は、国と
地方が総力を挙げて、将来に
夢や希望を持てる、誰もが安
心して暮らすことができる魅
力あふれる地域づくりを推進
していくこととなります。

このような中、館山市では、
栈橋形式としては日本一の長
さを誇る『館山夕日栈橋』、館
山駅西口地区の南欧風の街並
みと一体となったシンボル

ロード『鏡ヶ浦通り』、昨年
十一月に地元物産品の販売や
絶好のロケーションを活かし
たレストランなどの商業施設
棟が整備された『渚の駅たて
やま』の完成に伴い、豊かな
自然と館山湾を生かした個性
と魅力ある『海辺のまちづくり』
は着実に進展しております。

また、昨年九月には、念願で
あった帆船『日本丸』が寄港し、
千葉県内では初の船内見学会
が開催されました。

引き続き、『館山夕日栈橋』
への小型栈橋の建設を促し、
トップセーラーズによる大型客
船や帆船などの寄港誘致をさ
らに強力に推し進めるとも
に、この海辺のエリアを核と
して、城山公園や船形漁港の
ふれあい市場などの施設と連
携させ、人の流れ、経済の流
れを作り出すことで、相乗効
果による経済の活性化を目指
してまいります。

加えて、津波からの避難路
としての役割を担うとともに、
浸水解消や通学環境の改善を
図る『船形バイパス』は、用

地買収や物件補償など、順調
に事業が進展しております。

今後とも、『国道一二七号の
四車線化』の促進と、北の玄関
口である船形漁港エリアにアク
セスする『船形バイパス』など、
道路ネットワークを構築する整
備を進めることにより、観光客
の利便性を向上させます。

さらに、幼稚園や小中学校施
設の安全・耐震化を推進する
ための『耐震改修工事』をは
じめ、防犯カメラや防災行政
無線の増設や防災ラジオなど、
市民や来訪者の安全安心に直
結する防災対策を進め、『安全・
安心のまちづくり』の実現を
目指してまいります。

また、館山市商業協同組合が
手掛けているプレミアム商品
券発行にかかる支援や、大変好
評を博している住宅リフォー
ムへの助成の拡大、家庭の太
陽光発電システム設備の助成
を継続いたします。

さらに、『地産地消』を拡充し、
地域ブランド化を図りながら、
基幹産業である農水産業と観
光業、商工業を有機的に結び
付けた『食のまちづくり』や『六
次産業化』、『農商連携』によ
る地域産業全体の底上げも進
めてまいります。

また、積極的な企業進出を促
進し、経済の発展と雇用の場
の創出を図るため、『企業立地
及び雇用の促進に関する条例』
に基づき、企業立地と雇用の
促進に必要な奨励措置を講じ
てまいりますとともに、『ジヨ

ブサポート事業』などの雇用
支援策を展開し、事業者皆様
の雇用問題に対する後押しな
どを継続してまいります。

加えて、館山商工会議所の
皆様方が主体となつて取り組
まれている「中心市街地活性
化に関する研究事業」に協力し、
人口減少とともに商業機能が
低下している『まちなかの賑わ
い』を創出するため、連携を図
ってまいります。

地元商業の牽引役である皆
様がこのような新たな取組み
を展開することで、地域内にお
ける経済に循環が生まれ、さ
らには地域活性化の核となり、
地元経済の発展につながるも
のと確信しております。

さて、『2020年東京オリ
ンピック・パラリンピック』は
現在館山市が取り組んでいる
『スポーツ観光の推進』をさら
に加速化させるに相応しい絶
好の機会であります。

2012年の『トライアス
ロンアジア選手権館山大会』
のフィールドとなった館山湾
(鏡ヶ浦)は、波静かで、水質
も優れ、トライアスロン競技や
オープンウォータースイミン
グ競技には絶好のフィールド
であることから、これまでの
実績や経験を活かして『スポー
ツ観光のまちたてやま』をア
ピールしながら、オリンピック
各種目の事前合宿の誘致など、
引き続き積極的に取り組んで
まいります。

また、成田空港から一時間

四十五分、羽田空港から一時間
十分、東京から百キロ圏内と
いう地理的優位性を最大限に
活かし、アスリートのみならず、
訪日外国人観光客の誘致など
も視野に入れ、観光協会や商工
会議所など関係団体とスクラ
ムを組み、『オール館山』で積
極的に取り組んでまいります。

私はこれからの四年間を、
『大好きなふるさと館山のため
に』走ります！ 攻めます！
守ります！』をスローガン
に掲げ、各種政策を実現させ
たいと考えております。『実現』
させる政策の『走』、『前進』さ
せる政策の『攻』、『継続』させ
る政策の『守』を基に、『災害
に強い安心・安全なまち』、『い
くつになっても安心して暮ら
せるまち』、『ごもたちを健や
かに育てられるまち』、『市民の
暮らしが豊かになるまち』を創
り上げてまいります。

そして、市民の皆様が未来
に夢と希望と誇りを持てるよ
う、ないものねだりをせず、あ
るもの選び・あるもの磨きを
しながら、『元氣と笑顔が溢れ、
市民一人ひとりが輝き、活気
みなぎるふるさと館山』の実
現を目指し、市政に取り組ん
でまいりますので、今後とも、
市政に対するご支援とご協力
をお願い申し上げます。

結びに、『未年』の本年が、
皆様方にとりまして、希望に満
ちた飛翔・飛躍の輝かしい年
となりますことをご祈念申し
上げ、年頭の挨拶といたします。

新年のごあいさつ

平成 27 年
知事年頭所感



千葉県知事

森 田 健 作

明けましておめでとうござ
います。

商工会議所及び会員事業所
の皆様には、輝かしい新春を
お迎えのことと心からお慶び
申し上げます。

昨年開催した「ちばアクア
ラインマラソン2014」には、
県内外から1万7千人のラン
ナーが参加され、沿道などで
は35万人の方々に応援して
いただき、本県の魅力とおも
てなしの心を前回以上に全国
へ発信することができました。
皆様の御協力にあらためて御
礼申し上げます。

そして、トップセールスでは、
県内企業の皆様と共に、マレー
シアと台湾を訪問し、観光客
誘致や県産品の販路拡大、相
互交流の進展などに取り組み
ました。また、震災後続いて
いる本県産農林水産物の一時
輸入停止解除を台湾当局に要
請し、前向きに取り組むとの
回答を得ました。今後とも経
済成長が著しいアジア地域に
対してトップセールスを実施
するとともに、地方ならではの
の外交を進めてまいります。
さて、東京オリリンピック・

パラリンピックの開催まであ
と5年となりました。開催の
効果を本県の発展につなげる
ため、本年は、昨年設立した
「2020年東京オリリンピック・
パラリンピックCHIBA推
進会議」のもと、「オール千葉
」の体制で観光地の魅力アップ
や外国人観光客・キャンプ受
入体制の整備などの取り組み
を加速させてまいります。また、
一人でも多くの本県選手がオ
リンピックに出場できるよう、
優れた能力を持つジュニア選
手の強化を図ります。

同時に、本県の発展を支え
る社会基盤の整備も重要です。
成田国際空港では、選ばれる
空港づくりに向け、現在検問
が実施されている入場ゲート
のノンストップ化などさらなる
利便性の向上に向けた取り
組みが進んでいるほか、4月に
LCC専用の第3旅客ターミ
ナルビルの供用が始まり、年
間発着枠30万回化に対応した
施設の整備が完了します。そ
して、首都圏中央連絡自動車
道（圏央道）については、神崎・
大栄間が平成26年度内に開通
する予定です。

これらにより、海外との航
空ネットワークがさらに充実
するとともに、北関東や東北
地方から本県へのアクセスが
向上することから、新たな工
業団地の整備や戦略的な企業
誘致、国内外の観光客誘致を
より一層図るなど、本県の社
会資本の整備を経済活性化に
つなげるための取り組みを進
めてまいります。

また、アキラインと成田
空港を直結する圏央道の大栄・
横芝間、平成29年度に開通予
定の東京外かく環状道路、首
都圏と成田空港間のアクセス
時間を大幅に短縮する北千葉
道路について、一日も早い全
線開通を目指して全力で取り
組んでまいります。

そして、景気回復の足取り
を確かなものとし、県経済の
一層の活性化を図るため、「第
3次ちば中小企業元気戦略」に
基づいた中小企業支援策の推
進や、健康・医療、エネルギー
等成長産業の振興等を積極的
に推進してまいります。

農林水産業については、野
菜や果物など農業産出額の5
割を占める園芸農業の振興の
ため、「公社」千葉県園芸協会
を核に、市場の需要に対応した
力強い産地づくりを進めます。
さらに、農地中間管理機構に
よる担い手への農地集積の促
進や農林水産物の高付加価値
化、海外への販路開拓などに
取り組み、生産者や関係団体
とともに「農林水産王国・千葉

の復活を目指します。

県民の皆様のご安全と安心の
確保も重要な課題です。災害発
生時には、県や市町村が行う「公
助」はもとより、自分の命は
自分で守る「自助」、自分たち
のまちは自分たちで守る「共助」
が不可欠です。東日本大震災
の教訓を生かし、県民、事業者、
自主防災組織、県、市町村な
どが一丸となり、地域防災力
の向上を図るための施策を推
進し、災害に強い千葉県づく
りに努めてまいります。

また、本県には、多くの鋼
板などで囲まれた自動車部品
の保管施設（ヤード）があり、
盗難車が保管されていた事例
や油の流出等が問題となつて
いることから、全国初となる
「ヤード適正化条例」を4月か
ら施行し、ヤード周辺におけ
る生活環境の保全を図ります。
危険ドラッグについては、その
危険性・有害性に関する啓発
活動に加え、乱用及び流通の
実態を解明し、取締活動を推
進するとともに、条例等の法
整備を早急に進めてまいりま
す。さらに、多発する振り込め
詐欺対策のため、被害抑止コー
ルセンターの継続、「確認戦士
カクニンダー」を活用した呼び
掛けによる被害防止の啓発活
動、だまされた振り作戦によ
る犯行グループの徹底検挙を
推進します。空き巣やひった
くりの被害に対しては、防犯
カメラの増設や移動交番車の
活用に加え、「コンビ二防犯ポッ

クス」の拡大など地域と連携し
た対策により、「安全・安心日
本一」を目指します。

高齢化が急速に進行する中、
要介護高齢者等の急増に対応
するため、特別養護老人ホー
ム等の施設整備や認知症対策
を進めるとともに、在宅医療・
介護に係る各種サービスを活
用しながら、住み慣れた地域
で安心して暮らし続けられる
体制（地域包括ケアシステム）
づくりに取り組めます。

次世代を担う子供たちのた
めの施策の充実も重要です。教
育については、光り輝く「教育
立原ちば」の実現に向け、今年
新たな「千葉県教育振興基本
計画」を策定し、学力の向上、
道徳教育の推進、いじめ防止対
策の充実、学びのセーフティ
ネットづくりなどに重点的に
取り組んでまいります。さらに、
子どもを産み育てやすく女性
が働きやすい環境づくりを推
進するため、子ども医療費の
助成の継続や保育所の整備促
進に努めてまいります。

本年も、皆様と共に、次世代
を担う子どもたちが「千葉で
生まれて、住んで、働いて良かつ
た」と誇りに思えるような魅
力あふれる「日本一の光り輝
く千葉県」を築いていけるよう、
全力で取り組んでまいります。
結び、商工会議所及び会
員事業所の皆様のますますの
御発展と会員の皆様の御健勝
をお祈り申しあげまして、年
頭のあいさつといたします。

新年のごあいさつ

平成27年
年頭所感



日本商工会議所
会頭 三村明夫

明けましておめでとうござ
います。平成27年の新春を迎え、
謹んでお慶び申し上げます。

日本商工会議所の会頭に就
任して、2回目の新年を迎え
ました。就任以来、被災地も
含めた各地の商工会議所、女
性会、青年部、会員各企業等、
多くの関係者と意見を交換し、
数多くの課題について議論を
重ねてきました。

人口減などにより存立の危
機に直面している地域や、円
安がコストアップに直結して
苦しむ中小企業を目の当たり
にしました。同時に、明確な
将来ビジョンを描き活力を生
み出している地域や、イノベ
ーションに果敢に挑戦し成功し
ている中小企業にも接するこ
とができ、強い感銘を受けま
した。いずれの場面において
も、商工会議所が地域の大き
な期待に応えるべく、積極果
敢にリーダーシップを発揮し
ており、その任務の大切さを
実感いたしました。

わが国経済は、多くの経済

指標が改善を示すなど、全体
としては明らかに回復の道
をたどっており、20年続いたデ
フレを脱却しつつあります。

私は、アベノミクスの本質は
需要創造政策だったと思いま
す。大規模な金融緩和、財政
支出、民間活動の活性化によ
り、需要が増加し、需給ギャッ
プは大きく改善されました。

マインド転換局面にある今
こそ、資本蓄積、労働力、ト
ータル生産性の3要素を向上さ
せ、中長期的な経済成長を確
実なものにしなければなりま
せん。やるべき課題は既に明
らかです。本年は、官民
ともに覚悟をもって、その解
決に向けて実行・断行するこ
きです。

政府には、安定政権でなけれ
ば実行できない痛みを伴う政
策を断行し、日本の明るい未
来への確かな道筋を示して欲
しいと思います。社会保障給
付の重点化・効率化は待った
なしであり、成長戦略は論ず
る段階は過ぎ、実行あるのみ

です。一層の規制改革による
イノベーションの喚起、国際
的な立地競争力の強化、低廉
で安定したエネルギーの確保
人口減少の歯止めと地方創生
などの山積する諸課題に対す
る適切な政策が、間断なく実
行されることを期待します。

我々民間企業は、デフレマ
インドからの転換をチャンス
と捉え、リスクをとりながら
事業展開し、事業収益を次の
設備投資や賃金増に結び付け
なければなりません。経済の
好循環を実現する原動力とし
て、これまでの貯蓄主体から
本来の投資主体に転換し、積
極的に行動することが求めら
れているのです。

日本は、GDPに占める輸
出比率が2012年実績で
13・4%と、先進国では9・
9%の米国に次いで低い国で
す。GDPの6割を占める個
人消費が日本の成長をけん引
つまり日本はこれまで内需主
導で成長してきた国なのです。
しかし、今後の人口減少ト

レンドを考えると、内需の伸
びは、ありとあらゆる努力を
しても、せいぜい1〜2%程
度と多くを望めず、企業の成
長のためにはどうしても外需
を積極的に取り入れることが
必要です。現状、売上高輸出
比率が2%台の中小企業も、
14%程度の大企業も、さらな
るグローバル化の余地は大で
あり、新興国の需要等を積極
的に捉えていくことが求めら
れます。

海外現地生産という選択肢
もありますが、我が国の人的
資源や技術力の高さといった
強みに加え、円安メリットも
活かしながら、国内設備投資
により供給能力を高め、輸出
競争力を強化することも重要
な戦略です。円安は、中小企
業にとっては恩恵をフルに享
受できるものではなく、むし
ろ原材料コスト増につながり
ます。しかしながら、現在の
円安はしばらく定着すると覚
悟せざるを得ません。何とか
円安をメリットにつなげられ
るように知恵を絞らなくては
なりません。いくつかの中小
企業が、生産拠点を海外から
日本に戻した、あるいは戻す
計画、たという話も聞いており
ます。もちろん、そのための
環境整備として、TPPの締
結、主要国とのEPA締結
法人税の減税なども急務です

ので、政府等に積極的に働き
かけてまいります。
このように我が国は、デフ
レマインドから脱却し、成長
に向けた施策を実行すること
が急がれますが、二つの大き
な構造的課題にも直面してい
ます。一つは、「人口急減と超
高齢化の加速化」、もう一つは
「地方疲弊の深刻化」です。

私は、経済財政諮問会議の
もとに設置された「選択する
未来」委員会の委員長とし
て、50年後の日本の未来像と
2020年までに取り組むべ
き課題をまとめ、昨年11月に
報告書を公表しました。

本報告の第一の目的は危機
感の共有です。政府、地方自
治体、民間企業、大学等の学
術機関、市民など、あらゆる
関係者が直面する人口急減、
地方消滅の危機感を共有化し、
一体的な取り組みを推進すべ
きことを提言しました。第二
は、希望の持てる日本の未来
は選択することができる、そ
のためには、我々は未来では
なく今取り組まなければなら
ない課題に直面していること
から、その解決の方向性を提
示することでした。

選択する未来委員会で提言
した「50年後に1億人程度の
安定した人口構造を保持する
こと」が、政府の「骨太の方
針」に盛り込まれました。そ

の実現のためには、少子化対策支出の倍増、生産性の飛躍的向上、男性の働き方改革など、ありとあらゆる対策を総動員する必要があります。各地の商工会議所が取り組んでいる婚活イベントなども直接的な効果の期待できる重要な取り組みですので、是非積極的に推進していただきたいと思えます。

地方創生は大変困難な課題です。何しろ30年に亘る少子化、20年に及ぶデフレが地方の疲弊をもたらしたわけで、簡単に解決できるものではありません。地方には、観光、農林水産業、地方大学など、まだ十分に活用しきれていない資源があります。こうした資源を如何にうまく地域の活性化に結び付けていくか、そしてそれを如何に若者の働く場につなげていくかが創生の鍵です。まさに、商工会議所が重点的に取り組んでいる「地域の再生」と直結する課題であります。

全国約1800の市町村には1800の処方箋があるはず。地方創生は、その地方が自ら知恵を絞り、解決策を生み出す、すなわち当該地方の主体性、創意と熱意なくして成しえませんが、それゆえに、中立的な立場で多くの関係者をまとめ上げる強みを持つ商工会議所への期待は非常に大きくなっています。地方創生においても、各会議所が強いリーダーシップを発揮していただきたいと思えます。

また、震災復興の加速化に向けては、全国514商工会議所の絆をもとに実施している「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」や「販路回復・拡大」などの活動を精力的に継続しなければなりません。一日も早い本格復興に向けて、現地が必要としている施策を丁寧に取りまとめ、政府などへ提言してまいります。

我々商工会議所が、自治体の首長や地域住民などあらゆる関係者とともに危機感を共有化した上で、知恵を絞り、実行する力を発揮すれば、現下の危機は乗り越えられるはず。514商工会議所のネットワーク力など自らの強みに改めて自信を持ち、中小・小規模企業の活力強化や地域再生に積極果敢に邁進すれば、地域から日本の底力を上げる大きな原動力となります。

本年は戦後70年という節目の年でもあります。日本の新たな再出発に向けて、大いなる気概と自信と明るさを持ち、「実行あるのみ」を合言葉に、前に向かって動き出しましょう。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

訓練生の採用にご協力ください

県では、再就職を目指す離職者の方々に県内各地で職業訓練を実施しています。このうち、館山市内で実施している訓練で、介護職員初任者研修・介護事務科の訓練コースがこの1月に、パソコン・事務技能マスター科の訓練コースが2月に終了します。

つきましては、介護福祉業界はもとより、あらゆる企業で即戦力となる人材を育成していますので、ぜひ訓練生の採用についてご検討ください。

訓練内容の詳細は、以下のURLからご覧ください。なお、求人のお申し込みやお問い合わせは、各訓練実施施設*までお願いいたします。

※訓練実施施設 【介護職員初任者研修・介護事務科】

三幸福祉カレッジ（株式会社日本教育クリエイト）TEL：047-411-3671
<http://www.pref.chiba.lg.jp/sanjin/boshuu/2014/documents/k-kai-24.pdf>

【パソコン・事務技能マスター科】

TPSキャリアカレッジ（株式会社クレビュート）TEL：04-7157-2500
<http://www.pref.chiba.lg.jp/sanjin/boshuu/2014/documents/k-12-4.pdf>

訓練の全体の概要については右記HPをご覧ください。

HP：<http://www.pref.chiba.lg.jp/sanjin/boshuu/2014/26rishokusha.html>
お問い合わせ：千葉県商工労働部産業人材課技能振興班 TEL：043-223-2762

丸高石油株式会社

カーライフの
ホットステーション

Teck Pit Garden

テックピット
ガーデン ☎0470
(22) 7221

24時間体制で
安心をお届けする

ホームガスプラザ丸高

☎0470
(23) 8155

贈るよろこび
贈られるしあわせ



宝石・メガネ コバヤシ

館山本店 22-8881
館山銀座店 23-5511
イオンタウン店 24-2010

平成26年度

25名が表彰の栄に浴する

おめでとうございます!

市内事業所永年勤続

優良従業員表彰式を挙行

館山市・館山商工会議所ならびに館山市商店会連合会が行う平成26年度市内事業所永年勤続優良従業員表彰式が、12月15日(月)館山商工会館で挙行されました。

この表彰制度は、他の模範となる勤労意欲と誇り高い愛社精神で、永年にわたり所属企業の発展に尽力し、さらに地域経済を力強く支える原動力である優秀な従業員を表彰する、権威の高い表彰制度です。

今回表彰された方は、館山市長・館山商工会議所会頭表彰、勤続30年以上7名、勤続10年以上17名、館山市商店会連合会会長表彰、勤続15年以上1名、の合計25名の皆様です。氏名及び事業所名は次のとおりです。(敬称略)



館山市長・館山商工会議所会頭表彰

◇勤続30年以上 7名

判澤 修(館山丸魚株) 小汐正益・宇山浩秋(株石井工務店) 齋藤朱美(高山礼子美容室) 宮崎博子(税理士法人M I G O 館山事務所) 吉田泰敏(鏡浦自動車株) 川名順一(有三平商会)

◇勤続10年以上 17名

高山文広・安西美津江・福原信行(株石井工務店) 川名憲一・三平剛正・鈴木由美子・野口友之(館山丸魚株) 川江利子・鈴木すみ江(海の湯宿花しぶき) 粕谷貴宏(房州瓦斯株) 米倉高市・茅野伸一(鏡浦自動車株) 館石 誠(南房観光株) 川名千登世(有房州日日新聞社) 谷口美鈴(有上田商店) 関谷秀一・鈴木理香(有三平商会)

館山市商店会連合会 会長表彰

◇勤続15年以上 1名
原 三男(有上田商店)

協豊自動車工業(株)

本社 0470-22-5222 展示場 0470-27-6000

- 新車販売
- 板金・塗装
- 中古車販売
- 自動車保険
- 民間車検場

感謝伝葬

故人様への最高の手向けは感謝の心 私たちはそう信じています

アスカ館山法輪閣

アスカメモリアルホール プリエ

株式会社 アスカ 館山店
館山市北条301-1 ☎0470-24-3330

☎0800-800-5154
www.asuka.gr.jp

ワーク・ライフ・バランスセミナー in 千葉市

(主催：千葉県・千葉市)

- ◆日時 平成27年2月5日(木) 14:00~16:10
- ◆場所 京葉銀行文化プラザ 7階「楓の間」(JR千葉駅 東口徒歩約3分)
- ◆内容 「ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍の場の拡大」
～働き方改革と管理職の役割～
講師：佐藤 博樹 氏
(中央大学大学院 戦略経営研究科 教授)
- ◆定員 100名(申込先着順)
- ◆参加費 無料
- ◆申込先 千葉市 男女共同参画課
TEL：043-245-5060 FAX：043-245-5539
E-mail：danjo.CIL@city.chiba.lg.jp
- ◆問合せ 千葉県雇用労働課
TEL：043-223-2743

まちの視点

「まちゼミ」の効用を実感

商店街の店の店主や店員が講師となって、その知識や経験を地域の消費者に向けて無料講座として披露する「得する街のゼミナール」、通称「まちゼミ」が全国へ急速に広がっている。岡崎まちゼミの会の代表であり、まちゼミの普及・育成に努める松井洋一郎さんによると、計画中も含めると現在その数は170を超えているという。

「顧客」「店」「地域」の「三方よし」を実現する活性化事業として愛知県岡崎市で誕生したのが平成15年1月。今や全国各地に根付いたまちゼミの現場を見てみた。

小さなまちでも
大きなまちでも

新潟県上越市吉川区は人口4300人あまり。全国の地方同様、ここでも人口減少と高齢化は激しく、昼間は近隣の大きなまちへ働きに出るため、まちなかを歩く人の姿はまばらだ。
そんな小さなまちでまちゼミが始められたのが平成25年11月。わずか11店舗12講座な

がら、82人の受講者を集めた。その成果を、衣料品「しんち屋」の荻谷孝行さんはこう語る。

「これまでお客さまが（地区外へ）流出することはあっても、その逆はありませんでした。それが、まちゼミには多くのお客さまがお越しください、その後リピートしてくださった。また、講座を通じてもう一度勉強し直し、それをお客さまに伝える場を得たことで、自店の役割について見直すことができました」

この11月には2回目が開催され、まちゼミの効果をさらに感じられたという。

こうした効果は、大きなまちでも変わらない。人口30万人、福岡県第3の都市、久留米市でも、昨年11月にまちゼミが始まった。その特徴は、新規事業者の積極的な参加にある。

「消費者の方に気軽に店にきていただけるきっかけになりますし、セールスしなくてもいいところも、無理なく自分の店を知ってもらえるところだと思います」と話すのは、アロマトリートメントサロン

「あいのわ」を営む寺崎都さん。

寺崎さんは久留米商工会議所の創業者支援プログラムを利用して開業した。従来はブログなどを通じて情報発信していたが、それでは集客に限界がある。地域全体にあまねく広報ができるまちゼミにより、これまでになかった年代の顧客を獲得することができるようになったという。新規事業者にとっても、まちゼミは効果の高い事業といえる。

三方よしから
四方よしへ

まちゼミの導入・継続に当たって忘れてはならないのが、商工会議所など地域事業者を支援する存在だ。長野県松本市でまちゼミが始められたのは25年2月。53店舗が計61講座を開き、なんと1000人以上の受講者を集めた。

「二つひとつの商店の方たちは本当によく考えていますし、商売のレベルも高い。でも、それをどうやって発信すればいいのか、そこが悩みでした。その答えをまちゼミでみつけました」と話すのは、松本商工会議所の経営指導員・羽田野賢二さん。商業者のみならず、自身をはじめ支援者への

効用も実感したという。

「まちゼミを通じて、店主の方々と向き合い、膝を突き合わせて話をしました。何度何度も通ううちにすっかり顔なじみになり、普段、通りがかったときも、『今日はどうですか？』と気軽に声を掛けたり、ちよつとした情報交換ができた。店主の方との距離がものすごく近くなりました」(羽田野さん)

店よし、お客よし、地域よしの「三方よし」に加え、支援者よしを加えて「四方よし」を実現できる——まちゼミが広がる理由の一つがここにある。

停電でも安心だね!

停電時でも
空調&照明が使用可能!



電源自立型空調GHP
「エクセルプラス」

ガスエンジンを使って冷暖房を行うGHPは
電気エアコンと比べて消費電力を大幅にカット

都市ガス・LPガス
各種ガス機器

房州ガス(株) TEL 22-2251

トータルパッケージを提案します



あなたのお店あなたの暮らしを
元気にするあれこれ便利なお店です
包装用品・商店用品・事務用品・家庭用品

Pachaging System
安心・安全のための段ボールから美しい段ボールへ
株式会社

パッケージプラザ スギイ
株式会社 杉井工業所

本社 千葉県館山市北条1758 tel.0470-23-6076
営業本部・段ボール工場 千葉県館山市北条1310
tel.0470-22-7421 22-3273 fax.0470-23-6888
http://kk-sugii.jp E-mail: kk.sugii@yacht.ocn.ne.jp

不動産登記 会社・法人登記 測量

司法書士 佐野義雄事務所
土地家屋調査士

司法書士 佐野義雄
土地家屋調査士
司法書士 佐野晴信
土地家屋調査士
司法書士 佐野和生

〒294-0047 千葉県館山市八幡677番地
TEL. 0470-22-1830 FAX. 0470-23-8060

天保年間創業・通産大臣賞受賞・全国伝統的工芸品
千葉県指定伝統的工芸品（小糸の煙火）

(有) 福山花火工場

代表取締役 福山 一郎

千葉県君津市外箕輪 4丁目10番20号
☎0439 (55) 7033

充実した設備と 細かいサービス

大型カラー印刷機完備!!

- チラシ・パンフレット印刷
- オンデマンド印刷
データ入稿～印刷～製本
- 記念誌・自分史・郷土史
写真集・自費出版 etc...

お気軽にお問合せください

株式会社 集賛舎

SHU
SAN
SHA

館山本社・館山工場
館山市山本226 〒294-0014
電話0470-22-2277 FAX0470-23-2278

千葉支社（経営本部）
千葉市中央区生実町2498-8 〒260-0813
電話043-300-8661 FAX043-300-8665

東京オフィス
東京都港区元麻布3-10-8 〒106-0046
電話03-5414-6567 FAX03-5414-6568

ふるさとの味覚を自由に
詰め合わせて

南房総GIFT

館山商工会館 物産展示場

食事・売店・お土産 館山城・城山公園

里見茶屋

館山市館山236 TEL24-7211
営業時間 9:00～17:00
<http://satomichaya.awa.jp/>



法律・税務・商工相談

- 法 律 千葉県産業振興センター
- 税 務 鈴木 弘明 先生
根本 嘉美 先生
波々壁 和夫 先生
- 商標 特許 神崎 正浩 先生



ご相談のときは事前にご連絡下さい。

会議所窓口相談

商工相談
金融相談

毎週水曜日

(電話相談随時
お気軽にご連絡下さい)

日本政策金融公庫
特別金融相談日

毎月第3金曜日

(事前にご連絡下さい)

小規模企業共済制度

経営者ご自身の「現役引退後の生活
資金」のことをお考えですか？

年金だけでは不十分で、不安がある。
自分で積み増しするには、どんな
ものがあるのかな…

1 加入し、掛金を毎月
積み立てておけば…



2 将来、「廃業」「役員退任」
等が生じたときに共済金を
受け取れます。

★毎月3万円の掛金（年間36万円）で、例えば課税対象所得400万円の方なら、
約11万円の節税になります。（左図は確定申告書の記載例）

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします。

掛金は
全額所得
控除



3 現役引退後の
安心した生活設
計が図れます。

●共済制度の詳細内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

共済制度の運営機関



中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人

中小企業基盤整備機構

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

共済相談室 TEL 050-5541-7171

URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

小規模企業共済

検索